#### 事業実施状況

#### オレンジゆずるバス交通の整備 オレンジゆずるバスの運行【リーディング事業】

## 実施状況〈実施主体〉

年度実施結果

成果等

#### ①バス車両購入

- 7台購入
- ラッピング実施



<協議会>

②バス停設置

・バス停 143 本設置



<協議会>

#### ③実証運行

・運行開始



<協議会>

(阪急バスに委託)

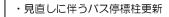


- ・評価のための OD 調査・アンケート調査実施
- ・市民部会及び専門部会開催

<協議会>



- ・抜本的見直し後、3ルートで6 台を常時運行
- ・予備車両を遅延対策車として適 官運行



- ⇒表記内容の貼替え 114本
- ⇒新規バス停 39本
- ⇒撤去バス停 29 本
- ・多くのバスの集まる箕面駅、市 立病院において行き先別にバス 停標柱を追加



- ・抜本的見直し運行(9月~)
- ・抜本的見直し運行の状況
- ⇒輸送人員 平均 913 人/日(需要予測 906 人/日)
- ⇒収支率 31.1% (目標値 50%)



- ・以下のとおり実施
- ⇒OD 調査: 12 月に実施
- ⇒市民アンケート調査: 12 月 に実施(配布数 2,000、回収 率 50,3%)
- ⇒バス利用者アンケート: 12 月に 2 日間実施(配布数計 1,295、回収率53,0%)



- ・円滑な実証運行を実施している。
- ラッピング・デザインは人気がある。
- ・ 引き続き7台を運用する。



- ・一目で分かるバス停を設置できた。
- ・多くのバスの集まる箕面駅や市 立病院では、行き先をわかりや すくするため、バス停標柱を行 き先別に設置した。



- ・輸送人員は予測値を超え、収支 率は目標値を下回っている。
- ・今後は、より効率的・効果的で 利便性の高い運行サービスを目 指し、市民共同で評価・見直し を実施する。



- ・協議会および分科会(市民部会 と専門部会)で市民協働による 評価・見直しを行っている。
- ・平成 23 年度は、短期間で運行 内容を変更することに対する混 乱に発生の可能性を考慮して、 軽微な見直しを実施しないこと としている。

# 評価・今後の方針など

#### 路線バスとオレンジゆずるバスとの連携

など

⑥箕面山麓線(路線バス)と青 ⑦乗り継ぎ割引の導入 ⑧競合路線における対応 実施状! ⑤路線バスとの共通利用 ルート(東部北循環)(オレン ・バス停の共通化を実施 ・箕面森町線とオレンジゆず ・実質的なサービスレベルを向 るバスとの乗り継ぎ割引を実施 況 ジゆずるバス)との役割分担 上させるためのダイヤ調整の実施 ・カードシステム等の共通化を ・オレンジゆずるバス間の乗り継 を実施 ・ルート、便数等で役割分担を実 利用実態調査の実施 実施主体〉 ぎ割引を実施 <阪急バス><協議会> <協議会> <阪急バス><協議会> <阪急バス><協議会> 平 成 ・抜本的見直し運行 ・運行開始当初に、箕面山麓線は ・運行開始当初から、一般で 100 ・平成 22 年に実証運行開始前お ⇒57 箇所のバス停位置を共通 箕面駅へのフィーダー路線、青 円割引、小児・70 歳以上の高 23 よび開始後において競合路線の ルート(東部北循環)はローカ 齢者、障害者は50円割引。現 化 年度実施結果 OD調査を計6回実施したが、 ⇒阪急バスカード、はんきゅう ル路線と役割分担を明確にし、 在も継続中。 平成 22 年度は実施なし グランドパス、阪急スクール ・オレンジゆずるバスから箕面森 現在も継続中。 パスの共通利用を実施(収入 ・箕面山麓線のダイヤを考慮して 町線への乗り継ぎ割引利用者数 成果等 の 32.6%) 見直し運行のダイヤを設定。 (抜本的見直し運行開始後 153人) ・役割分担により、利用者の利便 ・収入の1/3がカードシステム等 ・乗り継ぎ割引の実施により、利 ・今後も、運行内容の見直しと合 共通利用であり、利用者の利便 性が向上した。 用者の利便性が向上した。 わせて、ダイヤ調整などを実施 今 性が図られた。 ・今後は、運行内容の見直しと合 ・引き続き箕面森町線とオレンジ する。 後 わせて、ダイヤ調整などを実施 ゆずるバスの乗り継ぎ割引を実 ・引き続き共通利用を実施する。  $\mathcal{O}$ 方針 する。 施する。

#### 鉄道とオレンジゆずるバスとの連携

## 実施状況 〈実施主体〉

平 成

23

年度実施結果・

成果等

#### ⑨交通案内所の設置

- ・阪急箕面駅舎の一部に箕面交 通・観光案内所を設置
- ・交通案内と観光案内を合わせて 市観光協会が運営

#### ⑩イベント・キャンペー ンの共同開催

・箕面交通・観光案内所の開設イ ベントと併せ利用促進キャンペ ーンを実施

<阪急電鉄>



く阪急電鉄>



・交通・観光案内所内に設置され た電子看板によりバス運行情報 などを提供



・平成 22 年度に開設イベントの 実施及び式典内で交通・観光案 内所とオレンジゆずるバスの紹 介をした。平成23年度は特に 実施なし



・公共交通機関の乗り継ぎなどを 案内する施設の設置により公共 交通の利用促進が図れる。

・引き続き、オレンジゆずるバス の専用回数券、定期券等の販売、 鉄道と連携した利用促進を図 る。

・引き続き、利用促進にむけたイ ベントキャンペーンの実施を検 討する。



#### 公共交通の利用促進

#### ハード整備による利用促進

実施状 況 〈実施主体〉

平 成

23

年度実施結果

成果等

#### ⑪主要なバス停でベン チ・上屋の設置

· 箕面市役所前、松寿荘前、市立



<協議会>

(2)車両のラッピング、ア

#### ート塗装

・滝ノ道ゆずるとモミジーヌをあし らったラッピング



<協議会>

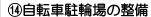


⑬運行情報の提供

バスロケーションシステムの導



(阪急バスに委託)



・阪急箕面駅西側駐輪場の整備

<阪急電鉄>

・平成 22 年度に箕面市役所前、 松寿荘前にベンチ・上屋、市立 病院にベンチを設置した。平成 23 年度は特に新規設置なし

・7台のバスそれぞれをコンセプト ごとに滝ノ道ゆずるとモミジー ヌのキャラクターのシールを貼 り付け

・抜本的見直し後にシステムを更新 ⇒ケータイのアクセス数 4,369 □/日 ⇒PC でのアクセス回数 22,349 回/日

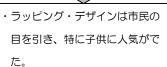
・箕面駅の路上、 かやの広場に追 加設置



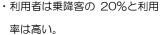
・平成 22 年度に、駐輪場の整備 は完了し、平成23年度に利用 開始



・引き続き、道路環境等の条件が 整った箇所の実施について検討 する。



- ・今後、このバスのデザインを利 用した利用促進策を検討する。
- ・車内装飾は今後もより魅力的な 空間となるように検討を行う。

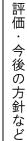


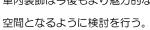
・今後は非利用者の約30%の「利 用したいが使い方がわからな い」に対して、わかりやすい利 用方法を情報提供する。

・引き続き、自転車と公共交通の 連携を図るため、駅、バス停付 近の自転車利用者や駐輪状況を 考慮したうえ、導入について検

討する。







#### 公共交通の利用促進 情報による利用促進

### 実施状況 〈実施主体〉

#### (5)バスマップの作成・配布

- ・バスマップ・時刻表配布
- ・Web 版バスマップの提供



<協議会>

#### (6)まちの魅力を発信する 情報誌とのタイアップ

- ・平成 22 年度に計 4 回実施
- ・阪急電鉄㈱情報誌トックに掲載

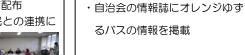
<協議会>

#### **のモビリティ・マネジメ** ント(MM)の実施

- ・乗り方の冊子を全戸配布
- ・大阪大学および市民との連携に

よるワーク ショップの 開催

<協議会>



<市民・NPO>

#### ⑩商業施設等のホームページ・ チラシにバス情報の掲載

- ・「箕面 100 円商店街」のチラシに オレンジゆずるバスの情報を掲載
- ・ヴィソラホームページに情報を
- <商業関係者等>



### 平 成 23 年度実施結果

成果等

- ・抜本的見直し運行後に情報更新 ⇒市内全戸(約60,000世帯) に配布
- ・認知度(市民アンケート調査)
- 1)運賃

78.9%

- ②最寄のバス停
- 69.7%

82.2%

- ③ルート・行き先 46.2%
- ④誰でも乗れる



・阪急電鉄㈱情報誌トック

600,000部



- ・乗り方の冊子を市内全戸(約 60,000 世帯) に配布
- ・大阪大学と市民有志によるオレ ンジゆずるバスの利用促進を考 える情報交換会を開催

⇒1月12、26日 2月9、23日 3月1、15、29日



®住民主体の公共交通へ

の利用啓発運動

- · 箕面如意谷住宅自治会
- ⇒情報誌に4回掲載
- ⇒約600世帯に配布
- ⇒A3 版ポスター掲示 (自治会内6筒所)



・ヴィソラのホームページに、エ コショッピング制度の情報な ど、オレンジゆずるバスの情報 を掲載



- ・昨年度より横ばい、または微増 となっている。
- ・ルート、行き先についての認知 率は、1年目の目標値も達成で きていない。
- ・今後はルート、行き先について の認知度を高めるため、わかり やすいルート、行き先の情報提 供を実施する。
- 情報誌とタイアップすることで、 オレンジゆずるバスの認知率は 高まっている。
- ・引き続き、各情報誌とタイアッ プレて、認知率、利用率の向上 を図る。



- ・MMの実施により、交通行動の 変化がみられ、バス利用者が増 加した。
- ・ワークショップにおいて検討し たより具体的な情報提供方法を 用いて、利用促進を図る。

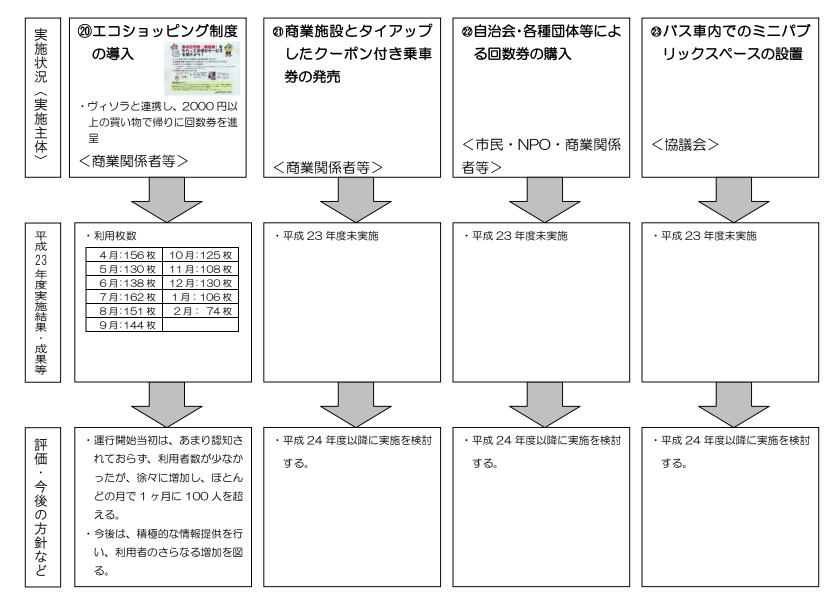


- ・利用啓発を実施した自治会近辺 バス停の利用者が多い状況であ
- ・今後は、利用啓発する自治会の 増加を図る。



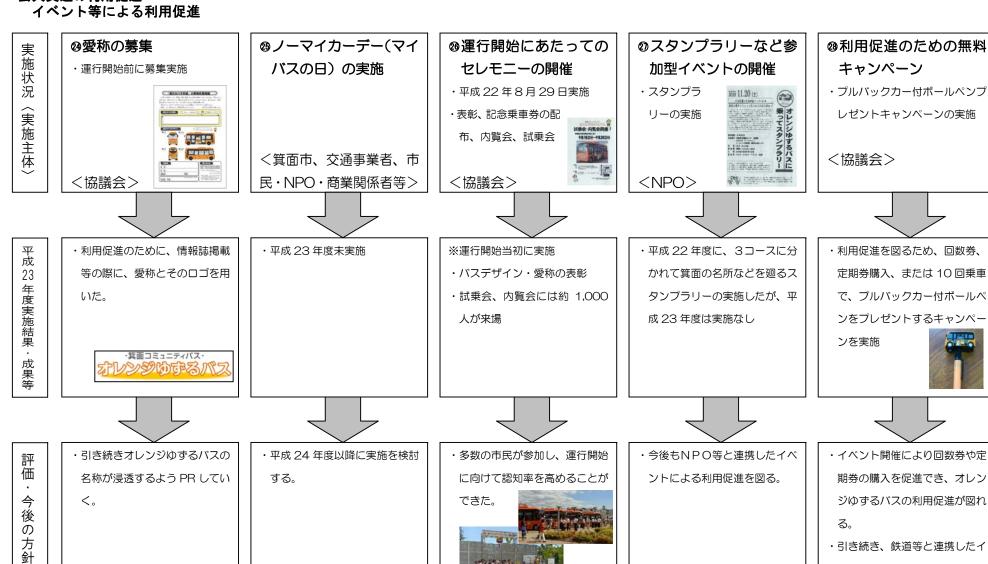
・引き続き、商業者等のチラシに バスの情報掲載をお願いして、 利用者の増加を図る。

#### 公共交通の利用促進 連携による利用促進



#### 公共交通の利用促進 イベント等による利用促進

など



ベントキャンペーンの実施を検

討する。

#### その他

図バス停標柱における情 ⑩見直しによる変更内容 **卸箕面まつりとの連携** ②無料体験乗車の実施 実施状 報提供 周知活動 ・箕面まつりにおけるブース設置 ・箕面まつりにおいて、営業時間 況 ・バス停標柱内に、時刻表と併せ ・かやの中央の西側バス停の新設 外に体験乗車を実施 〈実施主体〉 にあわせて、運行内容の変更の ・利用者の少ない層に無料お試し て、おおよその到着時間が分か るような、主なバス停までの標 周知活動を実施 乗車券を配布 < 箕面市、交通事業者、市 準所要時間を記載 <協議会> 民·NPO·商業関係者等> <協議会> <協議会> ・乗車時間が 長い ・箕面まつりの帰宅の際、6台の ・かやの中央西側に新たに設置さ ・箕面まつりの際に、専用ブース 成 バスを用いて各地域へ体験乗車 ため、乗車バス停 れたバス停の周知や利用促進の を設置し、チラシ、うちわなど 23 を行った。 から主な降車バ ためにパンフレットやうちわな を配布 (7月30、31日) 年度実施結果 ⇒乗車数:先着計 114 人 ス停までの標準 どを配布(8月) ・無料お試し乗車券 所要時間の情報 ⇒成人祭(1月9日):850枚 を提供 ⇒子ども健診等:300枚 成果等 ⇒こども会: 1550 枚 ## :#1 :#0:1#:######## ⇒市内幼稚園:2100枚 ・見直し変更後の運行内容を周知 ・見直し変更後の運行内容を周知 ・箕面まつりでは、多くの人に体 ・おおよその到着時間がわかるた め、利用者の利便性向上につな することができた。 することができた。 験乗車をしてもらうことができ 今 がった。 ・今後もより具体的に活用できる ・今後も毎年箕面まつりと連携し たが、お試し乗車券の利用率は 後 よう周知策を進める て利用促進に取り組む。 非常に少ない現状である。 の 方針 ・今後も、乗車のきっかけとなる など ように取り組んでいく。